

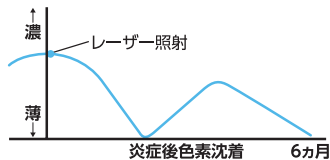
頬の辺りのシミの色が濃くなったみたい…

気になる“老人性色素斑”は治療できます

立川皮膚科クリニック

www.tachikawa-derma.com

老人性色素斑の症状



レーザー照射後、一時的に色素沈着が出てきたとしても、時間とともに落ち着いてきます

鏡を見る度に気になる頬の辺りに浮かび上がったシミ、そういえば手の甲にも。歳をとったせいだとガツカリしてしまいましたが、治せるものなら治したい…。日本皮膚科学会認定皮膚科専門医・立川皮膚科クリニック院長の伊東秀記先生に聞きました。

シミとは？
「日光を浴びる機会が多い部分、頬や手の甲などに現われる肌の色よりもやや濃いシミの多くは

「老人性色素斑と呼ばれるもの。人によっては20代でも見られます」

原因は？
「長期間紫外線に当たると、皮膚表面のメラニン細胞が活性化し、過剰に色素が作られます。通常なら古い細胞と共にメラニンも剥がれ落ちるのですが、新陳代謝が落ちて再生サイクルが乱れるとメラニンが滞り、その

「シミはレーザー照射で治療できます。自由診療で、当院では1〜3300円。照射後徐々に落ち着いてきますが、一時再び色が濃く見えることも。気になる場合は再度照射も可能です。ただ、やけどや打撲などによる炎症後色素沈着にレーザー治療はできません。中には「基底細胞がん」や「悪性黒色腫(悪性黒子)」などの皮膚がんの場合もありますから、一度皮膚科で相談して下さい」

院長：伊東秀記
日本皮膚科学会認定皮膚科専門医、東京慈恵会医科大学医学部卒業



休診日：日曜、祝日

診療受付時間	月	火	水	木	金	土
9:30~ 13:30	○	○	○	○	12:30まで 受け付け	○
15:00~ 19:30	○	○	○	○	18:30まで 受け付け	17:30まで 受け付け

問い合わせ
TEL042-843-1377
JR「立川」駅南口徒歩2分

2022年12月16日付 「リビング多摩」に掲載されました